

Q5 エクステリアづくりにおける、アドバイスをお願いします

家を建てるのに精一杯で、庭は後で考えようとか、自分たちで少しづつ造っていくとかいう話を耳にします。ですが、結局そのまま放置されているケースも少なくありません。「余った予算でエクステリアを」と考えていると、どうしてもそうなりがちです。

家と同様に、エクステリアについても理想の完成図をイメージして、どのくらい予算が必要か把握することが大事です。家とエクステリアの両方の予算を把握した上で、妥協するべきところは妥協して、お客様の予算にあう家をトータルで考えてはいかがでしょうか。絶対に暮らしが楽しく、豊かなものになりますよ!

駐車場ができるまで



土地に、そのまま車を置いている状態。草が生え、雨の日は水たまりができます



車1台分ごとに仕切りをつくり、コンクリートだけでは味気ないので、手前に自然石を敷いています



仕切りの溝には緑を植えて、見違える駐車場に!

次は、フジタ緑研による

ステキなお庭実例集です。

Q4 人気の施工スタイルを教えてください。

最近人気のスタイルが、堀で囲まずに駐車場と門まわり、アプローチだけでシンプルに設えたオープン外構です。敷地を堀と門で囲うではなく、部分的に背の低い堀や生け垣を設えます。見た目に開放的で、隠したいところだけ隠せるところが人気の秘密ですよ。



オープン外構の一例。アールの門扉でシンプルに仕上げました。



バースや平面図を見ながら、ライフスタイルをイメージします。



フジタ緑研 株式会社

加藤冬人さん

お客様の窓口からデザイン、施工管理まで全般を担う、エクステリアの専門家。

家づくりはエクステリア(外構)が大事!!

家の印象を決める エクステリア

Q&A

家づくりにおいて、実はとても重要なのがエクステリアです。

「家の印象はエクステリアで決まる」ともいわれます。

家を建てる際に知っておきたい、基本的なお話を、エクステリア専門会社、フジタ緑研株式会社の加藤冬人さんに聞いてみました。

Q2 エクステリアが変われば何が変わりますか?

エクステリアに凝れば凝るほど、暮らしが楽しくなると思います。たとえば、テラスやデッキはリビングの延長線上にあると考へてもいい。普段はリビングでテレビを観て、天気のよい日はテラスで本を読む、余暇の過ごし方に幅が出ますよね。

また、寺社など古来の日本らしい風景が好きで、庭に枯山水をつくった方もいます。家に居ながら、和風庭園を鑑賞していると思えば、少し贅沢に思えますよね。

Q1 家づくりで外構工事が大切なのはなぜですか?

外構工事は、居住建物そのものをとりまく建造物全体の工事のことです。一般的にはエクステリアと呼ばれています。エクステリアは、庭、堀、門扉、アプローチ、駐車場、カーポート、デッキ、テラスなどのこと。土地の中で家以外のスペースにあるもの全部と考えてください。

こうして挙げてみると、家づくりにおいて、結構大切な部分ばかりでしょう。お客様を招く際に、まず見られるのが家の外観。見た目の印象を決めるのは、エクステリアにかかっていると思いますよ。

Q3 どうしても家のことを優先してしまい、エクステリアが後回しになりますが、それでも大丈夫ですか?

もちろん大丈夫です! 家を建てた後に、カーポートやデッキを付ける方が多いですよ。図面を見ながら、スペースを最大限に生かしたプランニングさせていただきます。

でも、理想を言うなら家の設計時にエクステリアも視野に入れておくのがベスト。ほんどう、ライフスタイルに合わせて家の設計、建築をするでしょう。エクステリアも同じです。

たとえば、家の設計時に、庭を和風にしたいとか、英國風のガーデニングを楽しみたいとか、デッキを造りたいなどの希望があれば、庭に面した窓の大きさも変わってくると思います。週に一度はバーベキューをするご家庭なら、台所と庭の動線を考えた設計になるでしょうし、バーベキュー台が置けるスペースを庭に確保す



ることができます。最初にきちんと計画しておけば、すごく使い勝手がよく、暮らしやすい家になりますよ。

また、家を建てる費用に予算をまわしてしまい、エクステリアにお金がかけられなくなったりしないために、あらかじめエクステリアの予算を確保しておくことをおすすめします。全体予算のうちどのくらいをエクステリアに回すかを、家族で話し合うといいでしょう。